気管カニューレ内吸引

医療的ケア実施マニュアル

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（性別） | 　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） | 学年 |  |

【準備・手順】

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 気管カニューレ内吸引 |
| 実施手順 | 留意事項 |
| 必要物品 | ※手洗いをし、必要物品を準備する。吸引器　吸引用水　吸引用カテーテル　アルコール綿（消毒綿）　消毒液ディスポの手袋　聴診器　速効性手指消毒剤　 |
| 準　備 | 1. 分泌物が貯留している位置を確認する。
2. 環境整備（物品を適切な位置に準備）、吸引する体位を整える。
3. 石けんを使用して手を洗う。または、速乾性

手指消毒剤を使用する。1. ディスポの手袋を装着し、速効性手指消毒剤を適量擦り込む。
 | ・ゴロゴロ音の聴取や胸部や　背部に手を当てて痰のある位置を確認する。 |
| 実　施 | 1. 人工鼻を外し、不潔にならないよう保管する。
2. 吸引用カテーテルを清潔に取り出し、吸引器のチューブに接続する。
3. 吸引器の電源を入れ、吸引圧が（　）Kpaであることを確認し、吸引用水を吸引してカテーテル内の消毒液を洗い流す。
4. 吸引用カテーテルの根元を折り曲げ、吸引圧がかからない状態で気管カニューレ内に、適切な位置まで挿入する。

カテーテルの挿入する長さは、先端から（　）cm（カテーテルの目盛り（　）まで。1回の吸引は10秒以内にできるだけ短時間で行う。1. 吸引用カテーテルの折り曲げた部分を伸ばし、カテーテルをゆっくり回しながら引き上げ、分泌物を吸引する。
2. 吸引後、カテーテルに付着した分泌物をアルコール綿（消毒綿）で拭き取り、吸引用水を吸引してカテーテル内部の分泌物を流す。
 | ・必要に応じて手順①～⑩を　繰り返す。・吸引器の充電は確実に行う。・電池の消耗を防止するため、できるだけアダプターを使用する。・吸引中は呼吸状態や顔色、口唇色、Sp０₂値（酸素飽和度）を観察しながら実施する。・吸引ビンは、半分を目安に　内容物を破棄する。・吸引のタイミングについて　は、日ごろから保護者、医師　看護師と確認しておくこと。 |
| 終　了 | 1. 吸引終了後、消毒液を吸引して清潔な状態にした上で、吸引用カテーテル保存容器に入れる。
 |  |

【緊急時対応】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| トラブル | 保育士（教員）の対応 | 看護師の対応 |
| 気管カニューレが事故抜去した場合 | 看護師、保護者に連絡する。 | 気管切開部を伸展させて救急車搬送する。 |
|  |  |  |

【緊急連絡先】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜連絡先＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 保護者 | （母）（父） | 　　　－　　　　－　　　－　　　　－ |
| 主治医 | 　　　　　病院（小児科） | 　　　－　　　　－ |
| 救急搬送 |  |
| その他 |  |

（作成日）　令和　　　年　　　月　　　日

（作成者）

（保護者署名）